## 第7回地域医療構想調整会議の開催概要

### 1 議事内容

- ・ 神奈川県保健医療計画の改定について報告した。
- ・ 地域医療構想策定後の地域医療構想調整会議の運営方法、地域医療構想を踏まえた病床整備 に関する事前協議の方針について議論した。

### 2 主な意見

今後の地域の病床整備や事前協議等にも関わるので、次期保健医療計画の基準病床数については、早期の情報提供が必要。

回復期、慢性期などの条件をつけて整備した病床や、補助を受けて回復期に転換された病 床が適切に運用されていくよう、担保する仕組みが必要。

### 3 地域別の主な意見

地域別の主な意見				
地域	時期	主な意見		
横浜	3月17日	・病床整備だけでなく、医療資源をどう再配分するか考えていくべき。		
		・医療機関へ、回復期や慢性期への移行のための県からの情報提供や働		
		きかけを行ってほしい。		
川崎	3月29日	・医療計画は、地域の実情に応じた、細やかな気配りが必要。病院間の		
		機能分担と連携も、地域により移動手段が困難なところもあり、様々		
		な要素を含めて検討するべき。		
相模原	3月28日	・調整会議は、病床機能区分に合わせていく方向性で進むと思うが、市		
		審議会で別の基準で病床を許可した場合、整合性を担保できるか。		
		・回復期で手を上げて審議会を経て整備した病床を、地域のニーズが変		
		わって転換することも、今後考えられるので、対応について検討が必		
		要ではないか。		
横須賀・三浦	3月9日	・会議体の統合(地区保健医療福祉推進会議と地域医療構想調整部会)		
		にあたり、委員に福祉関係者は入れるべきである。		
		・有床診療所と病院を集めたWGを設置してはどうか。		
	3月7日	・病床整備の進め方については、調整会議(保健医療福祉推進会議)の		
		意向を尊重し、この意見に反して知事の権限を行使するのは避けてほ		
湘南東部		U61°		
		・WGは、構想の課題別に、病床機能の分化・連携WG、地域包括ケア		
		WG、人材確保WGが必要ではないか。		
湘南西部	3月6日	・調整会議(保健医療福祉推進会議)には、回復期や慢性期病院も加え		
		てもらいたい		
		・公募要件を決めるに当たり、不足する病床機能の確保だけでなく、医		
		療従事者を確保できるかという視点でも検討が必要		
県央	3月16日	・基金から施設整備に補助金を出すにあたり、看取りや、医療機関との		
		連携をするなどのルールをつくり、守られているか実態を把握してい		

		く必要があるのではないか。
		・県央は急性期過剰、回復期不足なので回復期を増やしていくと思う
		が、行き先となる介護施設等が確保できるか。回復期を増やすなら、
		行き先確保についても平行して検討しないといけない。
県西	3月10日	・急性期から慢性期等へ転換する医療機関が増えると想定されるが、急
		性期が減少すると救急医療への影響が危惧される。急性期から慢性期
		への転換の際にも事前協議を行うようにするべき
		・会議に慢性期病院も加え、意見を反映できるようにすべき。
		・病床機能の転換をどのように促していくのか。国の検討会の資料を見
		ると、かなりスピード感を求められている印象を持つが、3回の会議
		でどこまで深い議論ができるか疑問。
		・病床機能の転換を議論するWGや地域包括ケアのWGは必要
県 (推進会議)	3月3日	・基準病床数については、出典や途中経過を丁寧に説明してほしい。
		・各圏域のWGについて、早期に開催できるようにするほか、自圏域だ
		けでなく隣り合う圏域など複数の圏域でやるようにしてほしい。

# (参考)各地域の平成29年度第1回地域医療構想調整会議日程等

地域	日時	会場
横浜	8月1日(火) 13時30分~	横浜市医師会 会議室
川崎	8月16日(水) 14時~	川崎市医師会館3階会議室
相模原	8月9日(水) 19時30分~	相模原市民会館 2階 第2大会議室
横須賀・三浦	8月3日(木) 18時~	横須賀市保健所 第1研修室
湘南東部	8月4日(金) 19時~	藤沢市保健所 3階 研修室
湘南西部	8月29日(火) 18時30分~	平塚保健福祉事務所 3階会議室
県央	8月10日(木) 18時~	厚木保健福祉事務所大和センター 講堂
県西	8月7日(月) 13時~	小田原合同庁舎 3階 E・F 会議室